

## 平成26年度 第5回公立大学法人鳥取環境大学経営審議会 議事要旨

- 日時 平成27年1月23日(金) 13:30~15:40
- 場所 鳥取環境大学 大会議室(本部講義棟3階)
- 出席者 高橋一委員、河原正彦委員、三野徹委員、若原道昭委員、岡部哲彦委員  
林田英樹委員、山田憲典委員、吉田圭子委員、渡邊良人委員 [9名/10名]  
葉狩弘一監事 [1名/2名]
- 欠席者 藤縄匡伸委員、松本美恵子監事

### 【議事】

#### 1 前回議事要旨の確認

#### 2 審議事項

- (1) 平成26年度第3回補正予算案について  
資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。
- (2) 平成26年度及び平成27年度における複数年契約案件について  
資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。
- (3) 公立大学法人鳥取環境大学及び鳥取環境大学の名称変更に伴う関係規程等の整理に関する規程の制定について  
資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。
- (4) 学生部長の廃止と副学長業務の整理に係る規程(2件)の一部改正について  
資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。  
主な意見は次のとおり。  
○学校教育法の改正に伴い、文部科学省からもガバナンスの見直し指示があり、時機にかなった改正だと思う。  
○学生部長がなくなっても、教員と事務の調整がうまくいくように配慮してほしい。  
→今の時代は学生運動もないし、これまでの学生部長の役割は副学長の担当で充分対応できると考えている。
- (5) 公立大学法人鳥取環境大学職員給与規程の一部改正について  
資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

#### 3 協議事項

- (1) 平成27年度年度計画について  
資料に基づき、平成27年度年度計画について説明あった。  
○岡山理科大学では、インターネット出願を採用して、実際に出願者も増えている。有効な手立てと考えている。  
→勉強に行かせていただきたい。  
○通学バスは、学生にとっては大きな問題と思う。ぜひしっかりと準備して学生の不満につながらないように取り組んでほしい。
- (2) 平成27年度当初予算案について  
資料に基づき、平成27年度当初予算案について説明あった。  
○資料にもあるが、今後の少子化は切実な問題であり、よほど頑張らないと大学は生き残っていけない。収入が増えている今こそ、先を見越した事業が必要である。特に国際化は

大学としてとても重要なポイント。英語のみならず中国語や他の言語の支援も積極的に考えてほしい。

○英語村は、環境大学にとって注目を集める要素であり、地域の人に近づくとてもいいチャンネル。これからは地域から評価される大学でないと伸びていかない。

→英語村は、まちなかキャンパスなども活用し、地域の人にも親しんでもらっている。英語スタッフの確保が難しいといった問題もあるが、外部からの視察も多く関心は高い事業なので今後も積極的に取り組みたい。

- (3) 裁量労働制の導入に伴う諸規定の変更等について  
資料に基づき、裁量労働制の導入に伴う諸規定の変更等について説明があった。

#### 4 報告事項

(1) 近況報告

資料に基づき、報告があった。

(2) 岡山支局の活動状況について

資料に基づき、報告があった。

(3) 入試実施状況

資料に基づき、報告があった。

○環境学部の県内の志願者が減っているのが気になる。詳しい原因をよく調査してみる必要があるのではないか。

→確かにこれまでできていない部分なので、一度調査してみたい。

(4) 大学における内部規則等の総点検・見直しについて

資料に基づき、報告があった。

文部科学省への最終的な報告に際し、監事の所見をお願いすることになる。

(5) 新研究科設置に向けた事前相談の結果について

資料に基づき、報告があった。

(6) 私費外国人留学生奨学制度の新設について

資料に基づき、報告があった。

(7) 学生・職員提案箱への提案状況について

資料に基づき、報告があった。

(8) 鳥取環境大学開催の APGN 山陰海岸シンポジウム・イベント

資料に基づき、報告があった。